

爆

ネット通信

第17号
H24.8.20

熊本県爆発物原料取扱業者等ネットワーク事務局
熊本県警察本部外事課
096-381-0110(内線5719)

市販の薬品・肥料・塗料等が爆発物に!

昨年7月、ノルウェーで発生した連続テロ事件では、市販の化学肥料などから製造された爆発物が犯行に使われるなど、世界各地において手製爆弾によるテロが相次いでいます。

爆発物の原料と成り得る化学物質は、薬局、ホームセンター等の店頭における購入やインターネットを利用した購入が可能な状況にあり、我が国においても、市販の化学物質から爆発物を製造する事案が度々発生しています。

警察では、爆弾テロの未然防止の観点から次の11品目を重点として、取扱い事業者に対する個別訪問等の対策に取り組んでいます。皆様のご理解と、ご協力を、よろしくお願いします。

《毒劇物法指定物質》①過酸化水素水 ②塩酸 ③硫酸 ④硝酸 ⑤塩素酸カリウム ⑥塩素酸ナトリウム
《その他の指定物質》①尿素 ②硝酸アンモニウム(硝安) ③アセトン ④硝酸カリウム(硝石) ⑤ヘキサミン

《業者の方へのお願い》

- 販売時における本人確認の徹底
- 盗難防止等の保管・管理の強化
- **不審な購入者**を認知した際の通報

↓ 不審な購入者を判断する着眼点 (例)

- 使用目的が不明、曖昧、不自然
- 個人では不自然な大量購入
- 購入者の住所が遠方
- 氏名等を明らかにしない、難色を示す
- 譲受書の記載が雑
- 同じような薬品等を何度も購入
- マスク、サングラス、帽子等で顔を隠す
- 手や指先が薬品かぶれ、店内で手袋使用
- インターネットによる購入、学生の購入



2005年7月発生の、ロンドン同時多発テロにおいても、化学薬品を使用した爆弾が使用された(写真は爆破された2階建てバス)



対応要領

次の要領で最寄りの警察署へ通報をお願いします
《来店の場合》購入目的を聴取し、人相特徴、車両ナンバーなどを記録
《電話の場合》「在庫を確認しますので折り返し連絡します」等と応対し氏名、連絡先を聴取

学生による爆発物製造・爆破事案

本年4月、北海道において、火薬を製造する目的で高校から薬品などを盗んだとして、高校生が逮捕されました。

同生徒は「爆弾に興味があった。山中で爆発させた」などと話しています。

《過去の同種事案》

- 中学生4人がインターネットで爆発物の製造方法を調べ、学校理科室から薬品を盗む
- 高校生が、同級生全員を殺害するために手製爆弾製造を計画し、量販店やインターネットで原材料を購入(爆弾は未完成)

夏休みに入り、同種事案の再発が懸念されます。販売や問合せに際しては、使用目的聴取、身分確認の徹底をよろしくお願いします。



本年10月、東京でIMF・世界銀行年次総会

テロ対策にご協力をお願いします!!



2012
TOKYO
ANNUAL MEETINGS

INTERNATIONAL MONETARY FUND
WORLD BANK GROUP

10月12日から14日まで、東京都内において第67回国際通貨基金(IMF)・世界銀行年次総会が開催されます。

同会に対して、様々な勢力による妨害行為等が予想されています。

また、各国要人が多数来日するこれら国際会議は、テロの標的となるおそれがあります。

(上記写真のロンドン同時多発テロは、英国でG8サミット開催中に発生し、56人が死亡しております)

警察ではテロ防止のための警戒を強化し、受付けますので、ご協力をお願いします。

第17号

24.8.27

熊本県警察本部